

岩手県議会一般質問は十二月四日(水)午後一時より後援会の皆様を始めとする支援者の方々約七十名が傍聴席で見守る中、始まりました。

当選後初めての一般質問でしたので、最初のうちには多少緊張気味でしたが、時間が経つにつれて本来のペースを取り戻し、知事を始めとする答弁者もその内容と迫力に圧倒される場面も見受けられました。



前半では、人口減少問題、いわて県民計画の進捗状況、県民所得の目標値設定の根拠についてなど質問しました。後半からは「県が立てた種々の目標が多く、それに対してマンパワーが足りず達成できていないものが多いのではないか」と質問。「優先順位を決め、より具体的な戦略目標を掲げてほしい。」などと知事に詰め寄る場面もありました。

質問が終わり、休憩時間には支援者が待ち受ける控室で挨拶を交わすと、皆さんの顔を見てほっとしたのか先ほどまでの硬い表情から一転、満面の笑顔に。

小雪ちらつく師走のお忙しい中、多くの皆様にご参加いただき誠にありがとうございます。



【参加者の皆様からの感想】

「初めて傍聴しましたが、内容が多岐に渡り、尚且つ新鮮で新しい風を県議会にもたらしてくれると期待しています。」(松園・Oさん)

「初質問、頼もしく聞かせてもらいました。質問の所々に勉強の跡がうかがえて、内容が豊富で中身が濃かったと思います。答弁側も答えに行き詰まる場面もあり、緊張感が伝わってきました。」(松園・Hさん)

令和元年、お支えいただきありがとうございました。来年も引き続きのご支援宜しくお願い致します。

